

廿五日

一 明日の代香は表え仰出されぬ一橋中納言より空に一とこ暑中みきん
 上姫路が國さんまゝ一りこ
 一 海もふく一桶ふもしれ子鹽附一ツ本きん上の事傳奏衆より申入て取
 次が廻し上る本願寺が例之通りは焼燈挑カ五より生さい一折きん上前關白
 泡え暑中返しに香一折奉書をぬ出る

廿六日

一 泉山え代香は表え香は花着

廿七日

一 知門泡今日暑中侈機嫌伺に茶二ツ本上クのく小座敷え召され
 此對面成りさふし二疋ゆりも本り一本クのく親王泡え暑中尋に香
 一 折系るは使表使之聖門泡えはさふし二疋ゆりも本り一本系る
 一 今日詰の非藏人五十六人えはさふし一さんつゝ被下は蓮觀院泡に

しめ觀實院泡は初孝順院泡にしめ知光院泡は初觀世院泡に

一 疋つゝ下さるゝ藤大納言泡ふり松泡は乳人あ丸ぬにはらし一疋
 つゝ下されぬ明日藤大納言泡暇に付は非縮緬一反は袖入壹ツはちよ
 く一ツ金七百疋は手つり被下は

一 涉領所の福ゆのきん分を系る内侍所えあゆのゆそつ本系る親王泡准后
 泡え系るは使表使之敏宮泡入道准后泡えあゆ系るは内々のゆみちちこ
 つのりさゝは今日系り不申長州京え入込はよしを俄手はより合
 えては系りれりさゝ泡え出しぬ

一 稻葉美濃守所司代つとめ中の内々きん上冬は二枚折は衝立一箱は着七
 種きん上有有栖川宮泡二方の暑の返しは着一折つゝ系る山階宮泡え
 も同斷系る聖門泡妙勝定院宮泡え暑中の返しに本もし一折宛系る今
 日夢さゝは表はもやゝ俄に關白泡は初は系ては小座敷もとの本
 りゝはなゝく寅半刻ころよ濟をのゝ一橋初えはくかし出ス

元治元年甲子

七月よ梨

十月十日中

のむらへ

此内に十月十一日よ越後

心覺うつし置ひ

十二月廿八日迄を梨

甫子

七月十五日

一字佐奉幣使歸京

同 十九日

一 涉大變之事

九月八日

一 涉大變ニ附三ヶ夜涉神樂

同 十一日

一 伊勢一社奉幣

同 十七日

一 石清水賀茂下上臨時奉幣

發遣

七月朔日

一 涉拜有_レ神供帥典侍_レの_レ系向をふの_レはそつ本金百疋_レに_レいる朝_レ盃系る朝_レり_レる師典侍_レの_レ新内侍_レの_レ伊賀_レの_レ系賀_レの_レ對面_レの_レき_レの_レ無親王_レの_レ准后_レの_レ方_レの_レ祝儀_レ仰入_レの_レは_レ取_レ一折つゝ上ク_レの_レ

一 こよひの_レ盃_レの_レ三献_レの_レ三献_レめ_レ長_レとし_レの_レ酌_レの_レ女中_レ男_レり_レの_レと_レを_レり_レ有

二 日
一 涉拜有今日關白_レの_レ涉初_レの_レ系_レり_レの_レ小座敷_レの_レ敏宮_レの_レえ_レ暑中_レの_レ尋_レの_レ肴_レ一折系る

三日

一 敏宮_レの_レ方_レの_レあ_レゆ_レ上_レク_レの_レ關白_レの_レ内府_レの_レ中河宮_レの_レ一条大納言_レの_レ九条大納言_レの_レえ_レの_レ肴_レ一折宛奉書_レを_レて暑中_レの_レ返_レし_レの_レ系_レる中宮寺_レの_レえ_レの本_レもし_レ一折系る
一 橋中納言_レ松平越中守_レ稻葉美濃守_レの_レ暑中_レの_レ返_レし_レの_レ肴_レ一折つゝ取次_レの_レ使_レを_レて被下_レの_レ松平肥後守_レ所勞_レを_レて_レま_レとし_レの_レ斷申入_レの_レ戸田大和守_レ中

條左衛門督今川侍従えは肴一折つゝ暑中の返しに使番にて被下は町奉行兩人え暑中返しははふし三疋つゝ小堀は同斷二疋被下は一昨年以來國事ニ付圓通寺にて佛事仰付の導師え白銀十枚はとつ尾銀二枚出されは蓮觀院泡えは頼にて出る

四日

- 一 關東方志んきんの氷砂糖のほくそり親王泡え氷砂糖はう坊は大四本小五本旨准后泡え氷砂糖はう坊は大五本小七本はいる
- 一 關白泡近衛前關白泡入道准后泡ぬり司前關白泡中河宮泡え氷砂糖系る敏宮泡え氷砂糖はう坊は大三本小五本はいる
- 一 蓮觀院泡觀實院泡知光院泡蓮正院泡弘誓院泡觀世院泡孝順院泡初え氷砂糖汁被下は
- 一 大すき泡初氷砂糖ほくそり藤大納言泡えも下されははう坊添三仲間一同はるとひ小とも氷砂糖上り合のう坊一本つゝ被下は大瀧えも同

斷心つりさねも同斷戴るさね宰相典侍泡能登ぬえ氷砂糖はう坊被下は和宮泡え暑中の尋進は本んの先しや色越後ちゝみ松に寄ちぬはは模様之外におまつ廿枚ほくそり系る所司代え出る

五日

- 一 今日泡内々修日泡精進にてはふそめ
- 一 新待賢門院泡祥月ニ付般舟院え明日の代香は表え仰出されは今日大名二人初系内高家今川刑部大輔は暇系内小御所にては對面天さい給ふ
- 一 昨年方横死の物とも追福のめめ相國寺えせり泡仰附の白銀十五枚は導師え銀三枚出る是も蓮觀院泡えは頼にて出る小北山え例え通りは花きんを三袋らく三袋蓮觀院泡えは廻し申入は
- 一 泡表え中元の祝儀來る九日ト仰出されは口向えも申出ス

六日

一准后^の方^をゆりへしよむむ一折親王^の方^をするく一折下されぬ

十日

一中務卿宮^の方^をまぬの^に桃燈^を三^つり上^りク^のく

十一日

一今日^のゆめて度事^を附親王^の准后^の方^をさもし一折つゝ上^りク^のく

一敏宮^の方^をさもし一折上^りク^のく

一長橋^の方^をさもし一折進上^大乳^方さもし一折十さし上^る駿河^との方^さもし五さし上^る今日藤大納言^の方^をさもし一折進上^是ハ上^り合^をぬ

一戴^のを申^ひむろ^う濟^ひへて返事^と一所^ニ戴^のを申^ひ五さし^ぬ

一聖門^の梶井宮^の祝儀^仰入^のく^こんぬ一折つゝ上^りク^のく式部卿宮^の山

階宮^の方^を三種^壹荷上^りク^のく

一親王^の方^をえ祝儀^ゆきぬ一疋米十石^の手形^ゆさき帯^系る准后^の方^をえ丸^にに^しゆさけ帯^八米十石^の手形^ゆうに^ゆゆふ^者使長橋^ゆふへ使

右京大夫系る両方^ゆとも祝酒^ゆ引有親王^ゆえ^ゆ本^ゆんめし紅^さふし^ゆ模^ゆ様^ゆ秋^ゆ草^ゆこ^り梨^ゆ之^ゆ敏^ゆ宮^ゆえ^ゆ祝^ゆ儀^ゆゆ^ゆし一疋^ゆゆ^ゆに^ゆゆ^ゆふ^ゆ者^ゆ本^ゆんめし^ゆ越^ゆ後^ゆゆ^ゆ桔^ゆ梗^ゆゆ^ゆ模^ゆ様^ゆ卵^ゆ花^ゆ京^ゆ竹^ゆと^ゆふ^ゆ紅^ゆま^ゆめ^ゆ和^ゆ宮^ゆえ^ゆ本^ゆんめし^ゆ越^ゆ後^ゆ薄^ゆと^ゆた^ゆ模^ゆ様^ゆ松^ゆ藤^ゆふ^ゆ下^ゆ重^ゆ附^ゆう^ゆに^ゆゆ^ゆあ^ゆふ^ゆ者^ゆ親^ゆ王^ゆえ^ゆ本^ゆんめし^ゆ使^ゆゆ^ゆ系^ゆゆ^ゆ親^ゆ王^ゆゆ^ゆ礼^ゆ成^ゆゆ^ゆ三^ゆ間^ゆて^ゆゆ^ゆ盃^ゆ二^ゆこ^ゆん^ゆ者^ゆ二^ゆ献^ゆめ^ゆハ^ゆ天^ゆ酌^ゆて^ゆゆ^ゆ戴^ゆ之^ゆ濟^ゆさゆ^ゆ祝^ゆゆ^ゆ吸^ゆゆ^ゆ菓^ゆ子^ゆ出^ゆる^ゆ高^ゆ松^ゆゆ^ゆ初^ゆ申^ゆの^ゆ間^ゆて^ゆゆ^ゆ祝^ゆゆ^ゆ祝^ゆ酒^ゆゆ^ゆ和^ゆし^ゆ出^ゆる^ゆ小^ゆ性^ゆ若^ゆま^ゆしゆ^ゆ申^ゆ口^ゆ下^ゆニ^ゆゆ^ゆ祝^ゆゆ^ゆ酒^ゆ大^ゆま^ゆん^ゆ戴^ゆゆ^ゆ親^ゆ王^ゆゆ^ゆ今^ゆ日^ゆハ^ゆ何^ゆも^ゆま^ゆん^ゆを^ゆ物^ゆゆ^ゆさ^ゆ無^ゆ今日^も關^ゆ白^ゆゆ^ゆ初^ゆ寄^ゆ合^ゆて^ゆこ^ゆよ^ゆひ^ゆ盃^ゆ盃^ゆ男^ゆり^ゆゆ^ゆめ^ゆし^ゆ不^ゆ申^ゆゆ^ゆ表^ゆえ^ゆ仰^ゆ出^ゆされ^ゆゆ^ゆ夜^ゆ半^ゆ過^ゆゆ^ゆ盃^ゆ七^ゆ献^ゆを^ゆ二^ゆ献^ゆニ^ゆ重^ゆゆ^ゆ本^ゆふ^ゆふ^ゆう^ゆ方^ゆを^ゆ二^ゆ一^ゆこ^ゆん^ゆ乃^ゆいる^ゆ女^ゆ中^ゆゆ^ゆ通^ゆり^ゆ有^ゆゆ^ゆ酌^ゆ伊^ゆ与^ゆぬ^ゆ二^ゆ献^ゆめ^ゆれ^ゆし^ゆも^ゆみ^ゆ方^ゆ壹^ゆツ^ゆ物^ゆ五^ゆツ^ゆ居^ゆま^ゆて^ゆ出^ゆる^ゆゆ^ゆ盃^ゆハ^ゆ五^ゆ度^ゆ出^ゆる^ゆゆ^ゆ三^ゆこ^ゆん^ゆ者^ゆゆ^ゆ酌^ゆ長^ゆ橋^ゆゆ^ゆて^ゆ女^ゆ中^ゆゆ^ゆ通^ゆり^ゆ有^ゆ三^ゆ献^ゆあ^ゆさ^ゆと^ゆ戴^ゆゆ^ゆこ^ゆよ^ゆひ^ゆ三^ゆ仲^ゆ間^ゆえ^ゆ大^ゆ乳^ゆさ^ゆり^ゆつ^ゆま^ゆ致^ゆゆ

さりまぬ三そり系るきふの本んのりさくは礼も准后泡えは系りは對面は盃被下は

一親王泡えもは礼もは系りは口祝汁之

一は表をふの本んの人々は祝儀申入のりは重肴九もしは菓子出る知門泡

は礼も成は對面は祝酒は重肴にては盃肴はく和し出る

は前にては文こ之内は三徳は紙入一ツは水入壹は文ちん一對系るは乳

も系のり申口にては祝は祝酒は認盃有大まん戴るをは

一夕方は焼燈をもは

十五日

一朝は盃肴系賀は對面成准后泡か本んのめて度さ仰入のり二種一荷外之

そはのり膳は添肴上クのり立目錄書有さもし一折はよを肴一折は焼燈

五そり上クのり親王泡准后泡え今日ハこあさかハまんをのり物何も

くははさ無中河宮泡か三種一荷進上

一法中宮泡りさかこんぬ一折つゝ進上妙勝定院宮泡かは祝儀仰入のりこ
んぬ一折上クのり

一織若泡靈りんしの宮泡瑞龍寺は二方りさかは祝儀仰入のり

一仁門泡聖門泡は不系は乳兩人参のりはあふま一そこつゝ上クのりは兩

頭泡は与ぬするりとの大は乳えは福ふま被下はは兒は日系えも同斷被

下は准后泡え女中しゆ二りそりには礼も系るは對面は口祝は祝は吸物

准后泡は酌にては通り有次は重肴にては盃は通り有

一申刻前そはのり膳にては盃系るかり橋泡大は乳え別段は盃下さるゝ中

河宮泡かは兩頭泡駿河とのり兒日系大は乳えは福ふま下されは何事も

局えは一同えは礼に系る今日も關白泡は初は系りにて大はもやゝこ

よひのは盃男りさハ免し不申は表え仰出されは夕りさか准后泡は覺

さくは退出之夕りさハ盃は三献肴女中計は通りこよひ三仲間の盃は

与ぬ之

一今日親王泡也ちの人礼ニ系の申口にて祝也吸物也盃也く和し出

る

一准后泡の上臈也三人乳也年寄也礼也口祝也祝酒也く和し下され也

一今日宇佐奉幣使歸京ニ涉機嫌伺有也樂もん所ニ亦也對面成濟也の

也小座敷ニて也對面ある也撫物返上女房ニて内侍所え也礼の也鈴系る

十六日

一今年も也燈籠也もあくそりも也沙也無也焼燈也有り例之通り出る女中

の持寄も無奥方也肴二色出來今日も亦も出來不申入道泡も涉機嫌伺

クの三種の也肴上クの

一親王泡も也肴一折上クの

一准后泡も女中衆也也硯多也肴被下也

一關白泡も也焼燈十五そり鯉進上

一親王泡も同斷えんをの女中衆也也酒一樽鯉被下也兒也兩人
也日系也也は少し一反つ被下也

十七日

一今日夕方關白泡也初也寄合ニて也小座敷也也系り一りうく也おそ

く成寅半刻ころ也内も涉膳成也表えハ申出し不申

十八日

一今朝卯刻過關白泡也初也小座敷也願遊也し也念る成也對面ある也兩頭
泡也小座敷え召され也此度長州嵯峨天龍寺山崎天王寺ニ陣とり追々系
り也由言上右ニ附との亦りくも心配泡又ハ人々の人氣もさち終う
くしく也ゆべ先も引とりも様仰出され也へとも兎かく引とりも今
一度傳奏衆もつとくれよしをしくも後々入也座おくハもそやうちと
りも相成也よし也兩頭泡え仰の右ニ附也立退ハりさくあふさくも
もしくも火事ニ成也へも先々後院の也庭也也立退と也治定ニ成クの

事何之

一親王の敏宮の一所に成ふをの事、両頭の師典侍の初え申渡傳奏衆方も申入の三仲間えも大にち申渡ス授々恐入の事

十九日

一今朝卯刻前てつ本うう焼りき戦のるう子夫か出火所、焼すて追、戦をきしく成關白の初

一前え詰の表の衆追、奥の衆り

一北の衆ゑんねこあふ板輿廻りは

一卯刻ころ桂宮の衆り成ク

一准后の親王の桂宮の衆輿の一所に庭え廻りは大きき初地白のりふひふ白地の附帯白こふへのりつ支著用致火事成へもちの支に相成ぬり司關白の火玉うちこみ夫か追、火もうつりこきした事、内儀も取りふつき致へとも午刻ころ先、戦も少、おさぬり

ちのまはゆふをぬに誠ニ大々大變筆紙ニハ申れへりふこ和さ

廿日

一今日も出火追、焼さといはよしぬりいは座無關白の初詰之
一夕方庭えあやし物入こまは由にて著ふ大之^{ニカ}はさ私まにて座を南殿えうつさの親王の初詰一所に成ふをの^{武カ}民家入の上殿中局、まてまへ有先、何事もゆふをぬにゆきりふまてよ常殿に入御ゆふをの

廿一日

一今日も出火關白の初詰と先の間物出る

廿二日

一今日も出火有關白の初詰にての間物一献出る

廿三日

一 今日を先々火事無慾といひ去つりふたふたのく本願寺より此ころの涉機嫌伺ふ鯉ふりいきん上有親王泡えも同斷進上

一 賀茂下上北野八幡まよしに大變に付涉機嫌よくは壽命は長久猶々天下泰平にうんばによくは障り泡もあふたのくぬ様は祈禱仰附のくはまつ本銀一枚宛出されは

廿四日

一 近衛泡方涉機嫌伺くのく

はよを肴上くのく

廿五日

一 明日は代香に表え仰出されは

一 信敬院泡此度の類焼に付金三十兩に拜借に願にては願之通り三十兩出され内十五兩ハはそくひに被下は跡十五兩ハは拜借と成は

一 蓮觀院泡類焼ハは座あくはへともぬちのまに附物入多金十兩借に願拜脱カ

二 ち願之通り出る

一 觀實院泡方口のちまつ兩人類焼に附に願出るはすくひに金七兩つゝ出されは微妙覺院泡類焼にち竹門泡は本坊にちちまの脱カにちあらまのく取らへはちくあしりる

廿六日

一 泉山えに代香に表方泡香に花旨山階宮泡方涉機嫌伺くのくは杉折の泡くあし上くのく

廿七日

一 中河宮泡方涉機嫌伺くのくはよを肴上くのく女中衆えとては煙草二もこ被下は日茶えに内はきふし一反被下は關白泡より涉機嫌伺くのく鯉一桶うあま一桶上くのく女中え九脱カ一樽西瓜被下は九條大納言泡方涉機嫌伺に鯉一桶上くのく

一 山階宮泡方泡兩頭泡駿河との大は乳え羊寒て十さ本は兒は兩人日茶えは

くわし被下は關白泡初詰之

廿八日

- 一朝也盃也さゝ無關白泡初詰之
- 一也表方明日の別殿也あし伺有是ハ延引と仰出されは
- 一此度妙高院妙定類焼ニ付也もくひニ金五兩つゝ戴をを
- 一今晚ハ先々也まつりとして關白泡初詰ハあふをく

廿九日

- 一關白泡初詰也夕方也退出ニ成は
- 一知光院泡玉蓮院泡此度類焼ニ付也尋ニ也さくし一疋宛金五百疋つゝ別段金十五兩つゝ也すくひニ被下は孝順院泡方也願ニて知定淨心玉淨類焼ニ付也すくひ金七兩つゝ也さくし一疋つゝ被下は
- 一知光院泡玉蓮院泡類焼ニ附越後大乳心わこ紙類筆すみまを物色く取あつめ也戴をを申來月の也神供内侍所也附の

三十日

- 一近衛前關白泡也さくし杉機嫌伺のくも杉折も菓子上りのく女中衆え水せんま被下は關白泡え女中も機嫌伺も水せんま上る

八月朔日

- 一今朝也神供内侍所也附の今日の也代系長橋泡也系り也初尾金百疋也今日八朔あら何事もあふをの^{にカ}きん上物也祝事もは沙々無此ころ殘暑つよくりさひさのりさくりさひさ著用仰出されは兒りさもりさひさ著用之

- 一親王泡准后泡方も也肴も上りの所家^{衆カ}え多まの山階宮泡え女中も兒日系迄も鯉五疋のさ酒一樽上る

二日

- 一今日方いしの惣詰免をのく中夜壹人つゝに仰附の今日も妙りも院泡

えの類焼ニ附夏の二枚折の屏風一双二重の文之内ニは綸子一反の
硯一ツは水入一は筆洗一ツは來く臺一ツはすみ二丁は笥で五對は筆を
こゝに入らる

三日

一 桂宮の事先々追々進つり相成明已刻還涉仰出されは表え非常
附附のう仰出されは

一 今日方々るんさしたえ廻りは板與親王の御與まゝてつよるく
ニ成は關白の初は系は用濟は退出之敏宮は已刻比はするくは退
出はさふし二疋は手つりは縮緬紅一反は袋は金三千疋入まんと
の妙染院は供こしにて系はさふし一疋はちよく一ツ下さる

四日

一 と取し

五日

一 明日は代香の表え仰出されは

六日

一 今日泉山の代香の表方香の花系る此度竹御所の類焼ニ附夏の二枚折
の屏風一雙はいる上薦え金十兩小上薦え五兩一薦初は金十五兩下され
は

一 大にきる伊賀ふ別ニ上薦え送り物有師典侍^{帥カ}の長橋の越後駿河との大
の乳か一番の文こ之内ニさふし三反小さ、廿枚水入れもし入小と柔し
三徳紙入一袖入二ツもこ入三組を我二本進上申は知光院のえ大は
乳は絹一疋すことり紙入一組をる一本きさを一對非^下の板のおも
しるゝえ上る玉蓮院のえ水一疋すことり紙入煙草入を我一本は茶
の茶をん二こ上る

一 赤丸のえ水須一疋紙入壹少掛す、一ツ上る信敬院のえ下物三

ツ煙草入さて一本は茶をん十人前上る藤木典藥權助父子えきぬ一反
つゝ山本典藥大允父子え駿河との大乳を金五百疋つゝ

一高階典藥少允伊良子織部正えさかし一疋つゝ金五百疋つゝ右駿河との
大乳送り申は

一大町周防守え三徳紙入金二百疋山口豊前守え多り木の重え金貳百疋三
角攝津守久野出羽介え煙草入え金貳百疋高階筑前介え金貳百疋駿河と
の大乳を類焼え附送り申は表使を頼參の節傳への申置は

一寶相心院宮泡來ル十日は三廻りえ附は法事料銀十枚出されは
七日

一聖門泡を涉機嫌伺くの杉をりはくおし上りの

一知門泡を涉機嫌伺くの梨多とふ上りの東寺を此度は大變え付大師
泡立退え付何りとく入用多金千兩拜借願えて願之通り千兩
大すき泡の局を出る返上ハ年々三十兩つゝ返上えよし

一寶相心院宮泡は三廻りえ付宮泡の殘金え三百疋は供養料え藤大納
言泡え上る祥雲院は心さしに百疋戴るは
八日

一靈りんしの宮泡を水をんまき上りの中河宮泡を女中衆えとて取しぬ
とふ下さるゝ
九日

一附糟屋筑前守内々献上夏の二枚折は屏風一双献上
十日

一寶相心院宮泡は三廻りえ附は法事有は多く所を代系え系か所此こ
ろの事もへ祥雲院え頼被成は心さしはく日しは花指の本とこしに
祥雲院え金百疋戴るは大にき泡長もし泡大はちを香てんえ金百疋
つゝ上る師典侍泡は初を金五百疋香てん系る大すき泡の局を出る
親王泡を涉機嫌伺くのくおし上りの准后泡敏宮泡和宮泡をく

和し上クのく今日ハ此精進ハ此無生類汁よきゆ瑞川三位ぬえ此尋
ろゆく和し二色下されぬ大乳のぬえ

十一日

一 賀茂一社惣代ハ此機嫌伺ニ此免のうを七疋きん上

一 大樹泡ハ此ころの此尋ニ女中衆え此杉折ニて此茶ゆく日し被下ぬ三仲
間えも同断系る

十二日

一 和宮泡ハ此機嫌伺クのく此使者ゆく和し一もこ上クのく

一 此ゆく和し一もこ女中衆えも被下ぬ

一 宰相典侍泡ハ此機嫌伺あそハし此肴料金五百疋此きん上大すき泡初
此馴染のりさくえ此肴料五百疋下さる

十三日

一 泉山え此代香此表ハ此香此花系る此桃燈桃カの此乙てハ此大變ニて此あり

此ニ成此より子今年ハ督典侍泡中將典侍泡此架ぬえおくもりニ相成ぬ
此架ぬハ火後二度ニ相成ぬ

十四日

一 瑞龍寺泡え此度の此大變ニ此祈禱仰附のく今日此萬座満カニ此札上
クのく此機嫌伺クのく此杉折ゆく和し上クのく輪王寺宮泡此二方泡ハ
此大變此機嫌伺クのくゆく和し上クのく

十五日

一 中河宮泡ハ此ころの此機嫌伺クのく此よを肴上クのく此程瑞龍寺泡え
此祈禱仰附のく此時分觀實院泡日ハ此千度をあそハし此由ニて此挨拶
ニとて此煙草入ニ金五百疋此人形一ツ被下ぬ

一 遠觀院泡日ハ天神泡え此日系あそハし此由ニて金貳百疋被下ぬ

一 此ハ此類焼文照え此すくハニ金七兩下されぬ此九こん例の通りいよ
ぬハ進上こよハ月此覽此沙ハ無此表え仰出されぬ尾張えも申ぬ

十六日

一此度應修院に屋敷類焼丸、焼ゆすくひに金十兩出る觀實院にえ向出されは

十七日

一今日に樂もん所ろう下向十九日土走にて系りはに附に疊のえ白川に清もふひ有

十八日

一今日に淨靈社に祭ありは大變に跡ゆへに延引仰出されは何事もはさ
に無此度ハ出入の屋藤屋勘七鍵屋嘉右衛門近江勘兵衛門菱屋庄兵衛秋
田屋庄兵衛ゆすくひに五兩つゝ戴るを金千七百疋どうこる重左兵衛
門にゆすくひに戴るを丹波な事一年下りにてはへとも此度のに大變
非常の事ゆへ出勤仰出されは今日上ふを一寸は手附のゆすくひ看
二種上の大すきな初えすもしぬいめんゆきやま上ふを

一今日をあら門明く清所門のく、明出入出来は由承りは

十日

一先と取し

廿日

一明日常に殿にゆふしに付うんぶうの殿上人氣の

廿一日

一今日にゆすくひ辰刻まへに樂もん所え出淨に表え引渡女房ハ出不申所
にそんしのに所を鈴にて儀奏え申は親王にゆよを肴一折上くの准
后に方も同断上くの親王に女中えすもしに取肴被下は兩役の衆に
ゆすくひの殿上人うんぶうの殿上人にすもしに取肴出る非藏人にもすも
しに肴出るゆすくひ濟言上酒刻過はするくと入淨成初夜半過

廿二日

一長橋に子細のに所勞にて今日に下り昨夜廿三日中に届ケ出る

押小路甫子日記第二

廿三日

- 一 此度は大變ニ附關東使本田美濃守系内小御所にては對面ある天をい給ふ内府泡えは杉折二重は着はくかしりいる
- 一 中河宮泡え香ここは着五種布せふかし入系る
- 一 今晚は涉格子涉定例の通り仰出されは右ニつゞ儀奏近習夕景詰免せのり
 内儀向惣る宵曉は有止は事但無油斷心は様之事追討之涉沙^{汰カ}佐も被
 仰出は事故分る無油斷様但京都ハ段々静謐ト乍前文之通り故心^{違カ}に速
 無之様との事涉靈祭涉拜ハ何ふせのりへともこかく涉その外は祝事ハ
 被止は事今日仰出されは三頭え申渡ス
- 一 以しの詰ハ先々そのまゝと仰出されは

廿四日

- 一 今日大樹泡は涉機嫌伺^クのりはふりつゞ三本高橋え仰付のりまんきん
 之今日長橋泡は所勞は心よくは上りの所は祥忌にては上り無

廿五日

- 一 朝そやくかり橋泡めて度は上り之
- 一 此度は大變ニ附來ル廿八日辰刻は殿大祓ニ附前晚は當日事訖まで重
 輕服者系内憚事月水ハ子刻まへり局え退出事は表を申入のり明日
- 一 泉山えは代香は表え仰出されは
- 一 大變の時分は黒戸はりニ附み成先々は静ニ成^クのり來ル廿七日は
 黒戸は鎮座ニ成^クのりニ附涉寺御所總首座泡召されはは請有

廿六日

- 一 泉山えは代香は表は香は花着

廿七日

- 一 今日は黒戸は鎮座にて晝後總首座泡は系りにてはするゝと鎮座ニ
 成^クのり總首座泡えは間物は認はくかし出るは暇の時分白さるゝ一
 卷銀地のは煙草入一組はまをば一本被下は

一明日は清めの大神に附今晚は重軽服夕方出さるゝ月水ハ子刻前局引夕らゝ長橋の一夜は下り丹波を重ふくゝて下クの

一御火にへ無は膳の火もりもり不申

一今日親王の准后の清めは疊りへ親王の辰刻ころか御所へ成ふをの

一親王のえはよを肴は精進交五種

一准后のえはよを肴五種系るは系り中へあゝゝてえんをの今日大輔内侍の故障にて廿日の間下り

廿八日

一今日朝は盃沙の無今日大神已刻まへはを託くと濟をのは表を言上手あし出らるゝ服者上らるゝ中河宮のををう一折上クの今朝長橋の清よくは上り

廿九日

一來月十一日例幣發遣に付來る三十日晚は神事九日晚は十三日の朝

至りは潔齋の事は表を申入の例之通りは神事を有來月の神供をを埒のすきにえ仰出され

晦日

一此度類焼のし藤木典藥權助山本典藥大允高階典藥少允

一判金一枚つゝ被下は高階典藥少允別段思召にては絹二疋はあゝ被下

一中山攝津守金十五兩是ハ只今ハ關東え系り居は用も勤不申はゆへ伊良

子織部正え金廿兩別段思召にては支ぬ二疋はかりそへ被下は大町周防守山口豊前守三角攝津介は金廿兩つゝ被下は久野出羽介

一金十五兩山本安房守高階筑前介同十兩宛未拜診のし萩野河内守藤木出羽守山本紀伊守浦野出雲守山本備前介は金十兩つゝ被下は藤木近江

守を傳へのゝるうゝとらきむしろゝて戴をを夕方は神事入にて督のすきに新すき長橋の月水にては下り丹波を重服にく下の惣火り

る

九月朔日

一 滂拜有_レ神供_レを_レ持_レの_レす_レき_レの_レ系_レ向_レま_レふ_レの_レ初_レ穂_レ金_レ百_レ疋_レ留_レ
 一 朝_レの_レ盃_レの_レ沙_レの_レ無_レ朝_レり_レを_レる_レわ_レく_レう_レし_レの_レ師_カ典_レ侍_レを_レ新_レ内_レ侍_レを_レ加_レ賀_レる_レ系_レ賀_レ
 一 對_レ面_レの_レは_レの_レ無_レ

一 親_レ王_レ准_レ后_レの_レ方_レを_レふ_レの_レ祝_レき_レ仰_レ入_レの_レの_レ着_レ一_レ折_レつ_レ上_レク_レの_レ

一 今日ハ大_レす_レき_レの_レ初_レ祝_レ儀_レ申_レ入_レニ_レく_レそ_レり_レは_レ免_レを_レの_レ親_レ王_レ准_レ后_レの_レえ_レの_レ札_レ
 一 系_レる_レこ_レよ_レひ_レの_レ盃_レの_レ沙_レの_レ無_レ

二日

一 滂拜有_レ内_レ侍_レ所_レえ_レ七_レ月_レ分_レ八_レ月_レ分_レの_レ系_レり_レの_レ初_レ穂_レ銀_レ一_レ枚_レつ_レ系_レる_レの_レす_レ不_レ師_カ典_レ
 侍_レの_レ小_レ式_レ部_レ内_レ侍_レの_レ越_レ後_レの_レの_レ供_レ之_レ

三日

一 關_レ白_レの_レ初_レ日_レの_レ系_レり_レニ_レ附_レ思_レ召_レの_レニ_レ關_レ白_レの_レえ_レの_レ給_レ子_レ一_レと_レん_レの_レ見_レ事_レ成_レ六_レ
 一 りの_レの_レ水_レ入_レの_レ文_レ鎮_レ一_レ對_レ右_レ府_レの_レえ_レの_レ給_レ子_レ一_レ反_レ大_レの_レ文_レ鎮_レ一_レ對_レ三_レ枚_レ重_レの_レ盃_レ
 一 一ち_レの_レ物_レ一_レ多_レく_レ中_レ河_レ宮_レの_レえ_レの_レ給_レ子_レ一_レ反_レ銀_レの_レ水_レ入_レ三_レ枚_レ重_レの_レ盃_レ一_レ組_レ留_レ常_レ
 一 陸_レ宮_レの_レえ_レ同_レ斷_レ留_レ内_レ府_レの_レえ_レ同_レ斷_レ系_レる_レ

一 九_レ條_レ大_レ納_レ言_レの_レえ_レの_レ給_レ子_レ一_レと_レん_レ金_レの_レ水_レ入_レ三_レ枚_レ重_レの_レ盃_レ一_レ組_レの_レ手_レつ_レり_レの_レ給_レり_レ

四日

一 今日_レの_レ延_レ引_レの_レ滂_レ靈_レ社_レの_レ祭_レり_レニ_レて_レ上_レ下_レの_レ靈_レ社_レえ_レ金_レ五_レ百_レ疋_レつ_レ出_レる_レの_レ使_レ使_レ
 一 番_レ留_レの_レ祭_レり_レ取_レり_レの_レ何_レも_レの_レ祝_レ事_レハ_レあ_レふ_レを_レの_レ七_レツ_レ半_レ刻_レこ_レろ_レ滂_レ拜_レ准_レ后_レの_レえ_レの_レ内_レの_レ成_レふ_レセ_レの_レ

一 親_レ王_レの_レえ_レ毛_レう_レへ_レ一_レと_レこ_レ准_レ后_レの_レえ_レの_レ庭_レの_レ煙_レ草_レ本_レん_レ一_レと_レこ_レの_レか_レきた_レし_レの_レの_レ
 一 人_レ形_レ一_レツ_レ系_レる_レ准_レ后_レの_レ方_レの_レよ_レを_レ看_レ五_レ種_レ上_レク_レの_レ入_レ滂_レの_レ時_レ分_レ親_レ王_レの_レ方_レの_レ
 一 薄_レ板_レ二_レ枚_レ上_レク_レの_レ

一 准后の方紙入一組の文鎮一對上クの、中河宮の方紙よを肴上クの、
 二条の方松茸上クの、長橋の方紙下り中見舞大すき初方一寸、
 紙くおし上る

五日

一 此程の紙大變ニ付一橋中納言の紙裏美紙とへ紙まぬ紙入りさひさよ
 包大紙乳持出の外ニまんの紙太刀一腰給り合津えも紙太刀給りその
 外、大名えも紙裏美給り由一橋中納言始紙對面天盃給ふ大名九人
 初紙内有
 一 近衛内府の方紙くおし上クの、
 一 九条大納言の方紙肴三種上クの、
 一 親王の方紙神事中彦機嫌伺クの、紙よを肴上クの、紙大變に附内侍所
 三ヶ夜の紙神樂仰出され紙系役大すき紙え紙かりへあを埒のすき紙
 小式部内侍の方紙仰出され紙尾張え紙役申渡ス明晩の方紙神事入之

六日

一 今朝長橋の方新内侍の方紙上り紙を肴進上

七日

一 ぬり司前關白の方紙焼失ニ附紙尋ニ鴨居下紙屏風一雙二枚折紙うし紙屏
 風一雙中之紙机一そこあらく紙紙を紙へ之外は紙おし紙紙二ツニ
 紙まぬ十疋紙かり十包紙書箱紫さん木地紙紙へ有内へ金二百兩入紙
 さんさく文こ之内ニ紙筆色紙紙本う紙色紙小刀紙紙さミ類紙より紙
 と入紙る大納言の方紙絹三疋鴨居下五尺の紙屏風一雙紙古の紙紙を
 の、政所の方紙一番重の紙紙こ之内ニ紙紙を紙りめん一疋紙小町形紙紙入
 一組紙紙を紙一本紙袖^{入脱カ}二ツ紙紙文鎮一對紙水入一ツ紙筆洗壹ツ紙筆掛一
 ツ紙紙を紙臺一ツ小刀紙紙より紙紙を紙さみ入紙る紙馴染大すき紙師^{師カ}典侍の方紙藤
 大納言の方紙新宰相の方紙橋の方紙越後紙紙紙紙乳人するとの宰相典侍の方紙
 能登紙大紙乳の方紙前關白の方紙政所の方紙大納言の方紙右三方の方紙一せん白紙紙へ紙

文こま内二ツニ嶋縮緬一反袖入三ツ縫取煙草入五組金つゝを折す
 にとり紙入一組半一ツあきりれあんさし二本取とめ一本をううち二
 本銀水入焼物れもし入一ツ男形三折紙入一組織部りさ煙草入七組
 無地の巾をた二本巾をたへ一本巾文鎮二對巾盃三枚巾手さき一箱巾
 硯多一面もし文もこ二ツ巾目錄文こ尾く見ん附内ふ茶見ん五ツ
 小さ廿枚三重巾盃二組あき金巾花生一ツ小巾す、鉢巾花生一ツうす
 板一枚多物壺ツ巾さんちやく二ツ入巾馴染より上る
 一夕方丸火入る内侍所え巾鈴着巾初穂銀一枚着巾くしの巾湯着巾行
 水系るなり橋泡今晚より巾神事入九日の巾系役仰出され九日まてな
 り橋泡火ハ別之

八日

一今日巾菊糸の巾沙の無夕方巾盃も巾巾の無臨時巾神樂巾當日ニあ
 一内侍所お巾鈴着巾初穂銀一枚着巾をら五尾巾樽りさし系る未半刻ころ

湯供のしゆ揃はよし申入の、大すきな小式部内侍の清文巾湯有すく
 に巾廻り之程のふりへり系り酉刻過巾表くし言上巾湯着出湯刻きん出
 る朝り垂ぬにて巾服男りさの巾手水の采女兩人廻の、巾鈴濟をの、入
 湯成戌刻之前ニ大すきな小式部内侍の尾張内侍所え廻の、此度ハ湯所
 作福を、の、後ハ親王の巾よを肴三種巾くしの巾品上クの、
 一准后の巾よを肴はくしの巾品上クの、親王の巾よを肴も巾よを肴上クの、
 巾くしの巾品着巾よを肴使之敏宮の巾よを肴上クの、
 一こあさ巾よを肴、製はくしの巾品をの、兩役近習え巾くし巾肴下さ
 れは巾表え出る巾小座敷えハ召さ後女中衆え巾くし下されは此度ハよ
 ろしま巾表あく白縮緬巾染料銀五枚そへ出る巾中立夜半まへは巾内
 巾巾服りつまにて成ふをの、程のふ入湯成はす程くと濟クの、巾櫛
 上る大すきな小式部内侍の巾口祝有尾張藤江巾祝申入口祝戴あを
 ぬ

ニ付_レ肴一折_レ鈴系る_レ初尾銀一枚_有
 一辰刻過_レ湯着_レ出_レ成_レ刻_レき_レん_レ出_レる_レ服朝_レり_レを_レの_レて_レ男_レり_レの_レ手_レ水_レの_レ采_レ女_レ
 廻_レの_レ朝_レり_レを_レの_レにて_レ奏_レ聞_レ二_レ度_レ之_レ伊_レ勢_レ一_レ社_レ奉_レ幣_レ發_レ遣_レ今_レ日_レ一_レ所_レニ_レ相_レ成_レは_レ
 一幣_レ帛_レ料_レ半_レ金_レ一_レ枚_レつ_レ前_レ日_レニ_レ儀_レ奏_レ衆_レえ_レ出_レる_レ臺_レハ_レ箱_レハ_レ表_レこ_レて_レ用_レ意_レ有_レ
 程_レの_レふ_レ入_レ涉_レ成_レク_レの_レそ_レの_レは_レま_レにて_レ内_レ侍_レ所_レえ_レは_レ系_レり_レ有_レす_レ不_レ師_レ典_レ侍_レ泡_レ
 之_レ今_レ日_レの_レ祝_レ酒_レ有_レは_レ供_レは_レ与_レな_レ伊_レ賀_レな_レ系_レの_レ
 一午_レ刻_レ過_レ發_レ遣_レ濟_レク_レの_レ丸_レ火_レ解_レの_レ神_レ事_レ中_レニ_レ相_レ成_レは_レ晝_レ後_レ神_レ宮_レ法_レ樂_レ有_レ
 小_レ御_レ所_レ出_レ涉_レ成_レ讀_レ上_レケ_レ有_レ

十二日

一_レ中_レ河_レ宮_レ泡_レ此_レ本_レと_レせ_レさ_レく_レこ_レて_レあ_レら_レせ_レの_レは_レよ_レを_レ肴_レは_レま_レ鉢_レニ_レ一_レ寸_レ
 く_レく_レ和_レし_レ系_レる_レ關_レ白_レ泡_レ初_レは_レ系_レは_レ小_レ座_レ敷_レ一_レ橋_レも_レ系_レる_レ一_レ寸_レす_レも_レし_レは_レ
 肴_レ出_レる_レ春_レ日_レ社_レ八_レ月_レ分_レ法_レ樂_レ小_レ座_レ敷_レえ_レ出_レ涉_レ成_レ讀_レ上_レケ_レ有_レ

十三日

一_レ今_レ朝_レ神_レ事_レ解_レの_レ手_レあ_レし_レ服_レ者_レ上_レの_レ中_レ將_レ典_レ侍_レ泡_レ御_レ上_レり_レを_レ進_レ上_レ
 一_レ准_レ后_レ泡_レも_レ今_レ日_レ上_レり_レの_レ所_レ又_レ夕_レ方_レ延_レ引_レ放_レ生_レ會_レの_レ神_レ事_レこ_レて_レ上_レり_レ
 あ_レら_レせ_レの_レ夕_レ方_レ放_レ生_レ會_レ神_レ事_レ入_レ來_レ十_レ七_レ日_レ石_レ清_レ水_レ賀_レ茂_レ下_レ上_レ社_レ臨_レ時_レ奉_レ
 幣_レ發_レ遣_レこ_レつ_レと_レ今_レ晚_レよ_レり_レ十_レ八_レ日_レの_レ朝_レま_レて_レ神_レ事_レ夕_レ方_レ手_レあ_レし_レ多_レく_レ者_レ出_レさ_レれ_レ
 は_レ惣_レ火_レあ_レる_レ

一_レ今_レ日_レの_レ詰_レ免_レを_レの_レ

十四日

一_レ水_レ無_レ瀬_レ宮_レ八_レ月_レ分_レ法_レ樂_レ小_レ座_レ敷_レこ_レて_レ讀_レ上_レケ_レ有_レ准_レ后_レ泡_レえ_レは_レ下_レり_レ中_レ尋_レお_レ
 は_レよ_レを_レ肴_レ五_レ種_レは_レく_レ和_レし_レ外_レは_レく_レし_レの_レ品_レ系_レる_レ例_レの_レ御_レ通_レり_レの_レ敷_レ
 一_レ准_レ后_レ泡_レえ_レ大_レす_レき_レ泡_レ初_レは_レ涉_レ機_レ嫌_レ伺_レ蓬_レ生_レ嶋_レ廿_レ八_レ二_レッ_レ進_レ上_レ夕_レ方_レは_レ丸_レ火_レ入_レ
 こ_レの_レ内_レ侍_レ所_レえ_レは_レ鈴_レ系_レる_レ初_レ尾_レ銀_レ一_レ枚_レ肴_レ今_レ晚_レハ_レ清_レめ_レこ_レて_レあ_レら_レせ_レの_レ

十五日

一_レ石_レ清_レ水_レ法_レ樂_レ小_レ御_レ所_レえ_レ出_レ涉_レ成_レ讀_レ上_レケ_レ有_レ放_レ生_レ會_レ當_レ日_レ辰_レ刻_レこ_レろ_レ奏_レ聞_レ長_レ橋

泡の廻り之

一今日例之通りゆくしるふをの親王泡をゆくし上クのく大すき泡初也
くし上るこあさ掛物は辨當ニ金五百疋今日六門をふき

十六日

一今朝丸火解の事沙の無つゝまてるふをの准后泡已刻こ
ろの上りこる出むらい長橋泡あゝる之花はよを看上クのく大すき
泡初はすもしぬいめん被下は臨時奉幣石清水賀茂下上社に半金一枚つ
ゝ儀奏衆え出され

十七日

一臨時奉幣石清水賀茂下^{上カ}下發遣ニ附奏聞長橋泡をとへ衣にて泡廻り之辰
半刻前は湯石といぬんこる拜有
一今日今川ぬこはりてて拜有
一今日も例幣の通りゆくしとりるふをのく大すき泡初ゆくし上る

一親王泡をゆくし上クのく

一午刻過發遣するくと濟をの言上は丸火解の神事中之申刻過
ゆくしとりるふをのくこあさ掛物を四重之は重の内金五百疋入るつ
丸ぬ戴は之

十八日

一今朝は神事解のし手あし服者上のく中將典侍泡は上りはそか進上大輔
内侍泡は薄清くは機嫌伺有めて度は上りのるうこ奉書出るは上り
之より司前關白泡は此程のは礼仰入のくはよを看は杉折はくじし上
クのく

十九日

一入道准后泡は大すき泡初は尋ニは杉折ニは看色被下は
一より司前關白泡は馴染の女中衆え此程のは挨拶みは杉折ニは看色
九こん二樽おくふをのく今日修りく院山の松玄めし上る准后泡え松茶

- る松えめし少くつゝ蓮觀院の初孝順院の初觀實院のえ者
- 一同斷知光院の蓮正院の弘誓院のえ被下は敏宮のえ松とんるは者
- 一藤大納言のえもは戴のえと
- 一二条關白のえ松茸一さいおまつ上クの
- 一近衛の靈りんしの宮のええめし上クの

廿日

- 一入道准后のえは尋はく和しはよを看五種者九条大納言の中河宮のえもしやとはよを看者

廿一日

- 一仁門のえは機嫌伺クの杉折はく和し上クの今日關白のえ系一橋も系のくはく和し出る

廿二日

- 一水無瀬宮の法樂小御所の出は成讀上ケ有今日親王の誕生日に附小戴

三百のてうし一枝の看一折立目錄にて上クの外はよを看一折上クの

- 一准后のえは看一折はよを看一折上クのこあさか親王のえは看一折は使表使のえ系る准后のえ同斷系る親王のえ准后のえは看一折つゝ越後なは使のえ系るは両頭のえ大は乳小戴一ちさつゝ戴は師典侍の初小戴一ちさ下されは

- 一は両頭のえ大は乳かするく三連宛上る師典侍の初かするく五連上るゝ親王のえは礼に成は口祝は重看にては盃系る
- 一此度のえ大變に附關白のえ初は詰のえ挨拶に關白のえは小屏風一双櫻雉紅葉に鹿中嶋華陽は古は煙草盆はよを看七種者
- 一中河宮のえは二枚折は衝立屏風表櫻狩螢狩裏虫撰雪見は古は煙草盆はよを看七種は繪鶴澤探真

- 一右府のえは衝立表春野雲雀裏秋野鶉は繪長澤蘆風はよを看七種

一常陸宮泡え内小机一そこ寄看七種

一内府泡え内掛物左牡丹孔雀
右柿猿

岸丹波介

一九条大納言泡え内衝立表藤ニ雞裏月鴈原在内寄看七種系る關白泡中河宮泡右府泡にえんをのり品ハハまゝ出來不申目録書にて看計えんをのり

一聖門泡の涉機嫌伺クのり杉をりのりくおし上クのり乳泡使ニ系のり内附弟泡え内言傳ニ紙入毛うへ内文鎮系る

一上下涉靈社北野平野社え當月のり代系 小大夫系のり初穂例之通り出る

廿三日

一内侍所え當月のり鈴大すき泡師典侍泡なり橋泡に与ぬ大内乳より上るはくは上る

一今日常陸宮泡内府泡九条大納言泡ええんをのり品出來致不申目録書にて看計えんをのり

廿四日

一今日壬生東寺因幡藥師當月のり代系するりとのり
一内侍所泡當月のり鈴系るるを柿のすき泡督のすき泡小式部内侍泡越後を以賀ぬか上るはくは進上

廿五日

一内侍所え當月のり鈴ありる中將内侍泡新すき泡新内侍泡加賀ぬするりとのりはくは進上今日り領所の柿上る内侍所泡初尾にる親王泡准后泡に柿者内使表使之敏宮泡えもりのり大すき泡初はくそり之
一今日淨南宮竹田泡代系新大夫系る

廿六日

一泉山え内代香内表内花内香系る

廿七日

去十九日大變以來、褒美關白始、兩役儀奏り勢近習一同内々外様一同非藏人一同取次初口向一同、以し一同に、表を褒美被下、内

表

一大すき初金十兩宛宰相、七兩見、七兩宛丹波下り中、て八月十八日先され、上ゆへ七兩被下、三仲間一同、五兩つ、
此るとひ茶を^{脱カ}つりさ、兩人、四兩宛内侍所、初五兩宛、表を^{脱カ}取
下され

一准后、大變の時分何りと、世話を成り、とて大すき初
え金七千疋、おくらを、三仲間、五千疋被下、こゝより

一金五百疋つ、おる、大貳

一同三百疋つ、おる、本、おま、く

一金貳百疋つ、おみ、藤坂

一同三百疋、おす、初、え、三の間、え、三千疋被下

一金五百疋、おる、松、金、三兩、乳人、え、是、ハ、大變の時分、色々、遣、て、あ
れ、し、ゆ、へ、り、様、下、さ、る、見、え、貳、百、疋、三、百、疋、小、性、え、り、衆、に
千疋被下

一金五兩、藤、大納言、内侍所、非常、附、清水、谷、宰相、中將、^{精カ}、別出、情、藤、波、二、位
初、十六、人、え、五、百、疋、つ、別、段、下、さ、れ、る、う、さ、い、願、出、傳、奏、衆、え、仰、出
され、へ、と、表、被、下、へ、と、外、の、さ、し、つ、り、え、相、成、ゆ、へ、是、内
侍、所、給、り、申、入、り

内侍所も殊外々々、つて、む、つ、り、しく、こ、あ、か、廻、し、相、成、非、常
附、地、下、官、人、四、人、え、三、百、疋、つ、被、下、外、當、時、何、り、と、諸、々、何、も
む、つ、り、し、ま、附、す、く、願、附、同、人、え、三、兩、つ、此、度、り、たり、と、申、被
下、行、司、官、父、子、も、同、斷、願、附、下、され

廿八日

一朝也盃者親王泡方大變の時分何りとく世話ニ成クのとて大
すき泡初七千疋下されん

一五千疋三仲間一同え被下ん表方廻りんよし

廿九日

一也延引の八朔のきん上物仰出されん

一親王泡方也肴一折といく人形薄るう内く庭煙草本ん一もこ上

クの准后泡より祝き三百疋内くもるさ一もこ上クの敏宮泡

る金三百疋ふさい一もこ上クの近衛前關白泡より小机一もこ内府

泡より焼物花生一もこ上クの

一親王泡え返しもん金二枚者准后泡え返し金五百疋者使也二方泡

え右京大夫系る内く親王泡え十種香の道具一箱下さち使も

クの准后泡え内く是れ花生一もこ者使下さち系の近衛前關白

泡えかちちの手福多り一もこ内府泡え小衝立一もこ内くの
みにて出る

一淨重二組大すき泡初大乳か組帯二すし引合十帖あり橋泡方みも

こ二ツ大輔内侍泡初いぢる越後能登る伊賀る侍あしの文こ丹波

初駿河る兒泡兩人一番の文こ壹つ進上三仲間泡もち一ノ

采女より同斷知定初同斷上る

一關白泡初泡まう進上

一薙髪のりさくより祝儀金百疋つ進上織君泡同斷ミ妙りく院泡

か祝儀進上両淨藏かきん上物有上淨靈か鈴上る關東方馬きん上

參内殿る馬泡覽兩役近習さんしゆ有覽後遠山讃岐守え被下親

王泡え金貳百疋宛大すき泡初長橋泡大乳より

一金百疋つ大輔内侍泡しめするりとの兒泡兩人より進上返し

附さしゑ下されん

一 准后泡え金貳百疋つゝ大すぎ泡長橋泡大乳より大輔内侍泡初以よ
 る越後能登る壹二ノ以文こ一折つゝ進上丹波ぬとしめ金百疋つ
 べ兒以兩人同斷進上返しそのまゝに杉原十帖添するりとの以兒
 以兩人引合添三仲間え返し百疋つゝ一ノ采女知定えも同斷大瀧え
 も同斷内侍所さい茶目一折藤江初以文こ一折きん上返し百
 疋被下いゝゝきん上物有蘭白泡始え返し例の通り出る大す
 き泡初大乳え白り三枚つゝ長橋泡え三枚別段七枚被下大輔内
 侍泡初以与る越後ぬれと伊賀ぬ銀二枚半丹波ぬ初銀二枚つゝ
 以兒以兩人え以ち二ゆひつゝ被下今日ハ以盃祝事ハ以沙々無女
 中衆一寸こきりへ今日上り十帖一かきり末をろ一本引合一ふく
 水引二包筆三對物一包ぬめぬり講尺文こ壹ツ二番文こ一ツ以こさみこ
 こ入以ちりと申尾張え戴るを以
 一 來月の以神供内侍所附の

晦日

一 此度伊良子安房介事典藥を仰附の天ミやくもいしん仰出されは所傳
 奏衆方何時といしん仰出されはても以よろしく申入の來月二日午刻
 拜しん仰出されは事儀奏衆え仰出されは誘引ハ筆頭兩人申合は様こと
 仰出されは

十月朔日

一 涉神供内侍所え附の以代系中將典侍泡以系りきふ家以もつを金百疋
 着涉拜有朝以盃朝りる督典侍泡新内侍泡以賀ぬ之氣賀涉對面成親
 王泡准后泡よ梨以祝儀仰入の以肴一折つゝ上クの關東より初をし
 く以えんきん知門泡より女中衆え以重之内下されは
 一 こよひの以盃以三こん着以三献め長橋泡以酌て女中男りさ以通り有

二日

一 涉拜有今日午刻伊良子安房介をいえん表を拜しん濟跡二度之所此
 比涉用多るふをの今日一度にて濟をの誘引藤木近江守
 一 仁門泡え杉折葉子る

三日

一 御拜有内侍所え九月分の糸り初穂銀一枚を肴一折る
 一 明日伊良子安房介の内儀伺仰出され筆頭を仰出され取次えも表使
 にて申出シは知門泡えはうつりこさ本物五さ本物き

四日

一 今日そいえん伊良子安房介午刻誘引近江守にするくと濟をの口祝
 戴るをい是を常伺仰出され近江守に申渡す表使を取次えも申す
 一 中涉門を拜賀を付をい一そこ進上は對面るふをの所今朝は風氣
 にては沙の無表を仰出され天をい給ふ
 一 念とひ大樹泡は上洛濟は礼上使桑名少將を

一 大樹泡は太刀一腰馬代白銀三百枚取る百把えんきん和宮泡は白
 銀五十枚絹十疋天璋院は方銀五十枚進きん大樹泡より惣女中え銀
 百枚之内四十枚三仲間え内侍所さい初は十枚土き侍従は太刀一腰馬
 代銀一枚さや二まき献上今日ハハ風氣にては對面は沙の無酒をん
 給りは天盃給ふ涉所始泡を給り物有は風氣にては比伺は藥はりきん
 申さるゝ

五日

一 今日愛宕少將を拜賀を附をい一そこ進上は對面るふをの所は風氣
 にては沙の無表を仰出されはくはの間にて天をい給ふ關白泡えは
 庭のにもあはよを肴五種系る
 一 尹宮泡えは庭のは花はよを肴三種系る

六日

一 今日代香は表は香は花を

一 大樹の惣女中へ系り銀百枚三仲間四十枚十枚内侍所一ノ家女初え
出す跡ト五十枚を大すき初え銀三枚つゝ兒は兩人え一枚藤
大納言の新宰相のえ金三百疋つゝ出すべき

七日

一 今日亥子ニ付例之通り親王の始はきんしやう申出し有諸家よりも申
出し有

當年も會津中將因幡長門守方願こりく附出る戸田大和守拜領願出され
れ

一 附武家え被下し入道准后の近衛前關白の内府の關白えこれを参らん
内々のゆゑを伏見宮の山階宮の中川宮えこれを参らん奉書を寄
有栖川宮の父子ハさしかりへてくれ

一 親王の参らん一折上りの

一 准后の参らん一折上りの

一 こよひの盃は三献はつくつくつまのく准后の出席にてはつく
くつまのく女中衆も侍申さるゝ盃は通り有はとち下さるゝ
男りたも同断はとち被下し盃濟されは兒は兩人駿河とのへは
ちき下されは今日親王准后えこれを参らん二つゝ皆表使の使
敏宮の表向のゆゑにてこれを参らん

八日

一 入道准后の前關白の庭の菊の花は香五種つゝ皆

一 新朔平門院の祥當ニ付は供養料白銀三枚出る

十日

一 新朔平門院の祥月ニ付

一 泉山えは代香長橋の系向は備への菓子心はしも有は香はな系
るは馴染の女中衆ハはと取上不申今日内々の膳は精進之女中衆も
馴染のりゝゝハ精進之中川宮の稱號は改名にて賀陽宮ト稱せり

此事世話卿野宮を申入の

十一日

一今朝長橋の上りの所思召るをのくとめぬ督典侍大乳里方
むりい系り下りぬ

一今日方の心お本へ越後ぬのを寫置ぬ

一准后乃大變ニ附ニ衝立ニ拜領の礼み乙つし所ニ臺のさり取上
クの 中川宮の稱號はりありあふとしぬ事三頭え申渡ヌ口向ハ右
京大夫にて

十二日

一朝方内ニ膳ニ精進入道乃おまつ上クの 來ル十九日の子ニ
涉まんしやう出されぬ所涉年忌ニあふをのゆへ出され廿日ニ申
出しの事ニ表々多きぬ内儀より蓮觀院乃始え申系りぬ

一今日暇系内尾張前大納言越前少將系内小御所にて涉對面出涉成天盃

給ふ

一明十三日新朔平門院乃祥忌ニ付泉山え代香ニ表え仰出されぬ蓮觀
院乃より馴染のりさくえハ心さしに大手まんおもふい申事

十三日

一泉山え代香ニ表々香ニ花者兩寺え代香今日師^{帥カ}典侍乃備への
くおし花ニ香者心さしも有今日般舟院ニあ法事有詰正親町三
條大納言ぬ野宮中納言ぬ表え心さし出る准后乃内ニくおし
上クの 女中より涉嫌疑伺ニ蓬り嶋上る椿もち三仲間をきん上之

一知光院乃初方まよまんきん上よ取り過は清めの湯者

十四日

一准后乃乃精進解ニ取三種上クの 藏附ニてはちん一多さ上
クの

一今朝師^{帥カ}典侍乃上りの尹宮乃乃香五種小鳥上クの 近衛乃うなま

ゆきん上修りく院山の紅葉柿ゆう上りまぐ蓮観院ゆ信敬院ゆ孝順院
ゆ妙染院ゆえ紅葉柿ゆう被下ゆ

十五日

一 會津方例月のゆ肴一折きん上吉田ゆゆ花手桶ゆ肴二種進上此度石清
水賀茂下上春冬臨時祭毎年のゆ事ニ仰出されゆ北野臨時祭ゆさいるう
八月五日當年ハ十一月十四日ゆ治定仰出されゆ三頭え越後申ゆさ口
向ハ右京大夫ニゆ申出シゆ

一 小座敷ニゆ客ゆ一橋系内ニゆ菓菓子ゆ肴出ス

十六日

一 諸司代方月次のゆ肴一折進上

一 ゆは本のゆ茶ゆ口切廿二日と仰出されゆ昨年之ゆ通りゆ表えも仰出さ
れゆ尾張えも申渡ス

一 來ル十八日ゆ代香ゆ表え仰出されゆ

十七日

一 此度ゆ庭ゆ文庫出來栲炭石すへ伺有伺え通りと仰出さる、六角源
大夫ゆ茶菊酒二樽せに二樽きん上ゆ膳ニ出る今年ハ毎年きん上の
由ニ肥後前中將系内ニゆ小御所ニてゆ對面成天とい給ふ

十八日

一 桂宮ゆゆくら附ゆゆちん一ふさ上クゆ御所ゆゆ取えんせゆ親王
ゆえもゆゆちんえんせゆする、一折系る女中えハ今年ハ下され無
一 光格天皇様ゆ二十廻りみ成クゆ、兩寺ニゆ救會のゆ法事行をゆ詰飛
鳥井中納言ゆ六條ゆゆ内儀ゆ無人ニゆ表ゆ代番ゆ花ゆ香系る泉
山え蓮観院ゆゆ頼ニてゆ備へのゆくとし上る十一月ゆ神事ゆへゆ引
上ケ相成ゆゆ年忌の事ゆへ百、御所大ゆゆゆえゆ花ゆ備へのゆ菓子
二種寄近衛ゆゆ二方ゆよりゆ内、ゆ杉折ゆ茶ゆくとし上クゆ音羽の
御所ゆ花一つ、上る

- 一高司前關白の初観言のよりさ本物一折つゝ上クの
- 一蓮観院の初観言院の初方を二組進上口のしゆか一組をん上
有
- 一観實院の観行院の初内へくとし進上彦年忌に附和宮の彦機
嫌伺クのくとし料廻りは兩寺の
- 一香てん大すぎの師典侍の金百疋つゝ宰相典侍の能登る越後
- 一もあひひ七十枚つゝ兩寺え十九日に上る師典侍ハ別之
- 一くはは代系中將典侍の札あらり進上

十九日

一光格天皇様彦年忌に附兩寺を法事ゆふの代香師典侍は系
り伊賀も系するゝ兩寺え花備へまゆくとし心きしも有大すぎ
の宰相典侍の能登るハ契ぬえちこの花上る藤大納言の兩寺共花は
もあひひ三十枚つゝ別之はるき之今日法事の詰野宮も久世の敏

宮のく和し一折五さ本上クのこなさ方も一折系る和宮の折上
クの泉山をへり師典侍の儀さんし彦位をえは系りは備へ
のはく和し花上る

一新清和院様えも花一筒上る

一尹宮のえ内へ杉折はくとし上クの關白の一條の九條の乃た一
折つゝ上クの山階宮の輪門の府主宮の妙りく院のよりはくとし一
折つゝ上クの仁門のより取組大乘院の門主方もはくとし一折本願寺
妙春院の方をくとし一折つゝ靈かんの宮の花上クの彦寺御
所をせらう二組兩役を本物一折水薬師をくとし長多く寺をおいも
上る今朝の膳の精進の日供の取を出る女中衆も精進之
一今日の子毎もの通夕方の盃も三こんめ新内侍の酌之女中計
は通り有男りさハ免し申さは妙りく院のえのさちん者妙勝定院宮
のえも同断者彦年忌に附杉折のく和し系る上合のく和し一折蓮

観院を下されは観實院に初少くは戴るを申し

廿日

一 此精進解桂宮に於て一折上々の御所方も此看々の
一 今日涉きんしやう申出シ有師典侍に上り以架ぬも上の

廿一日

一 瑞龍寺に於てもちにてはくおし系る今日東本願寺類焼に附尋よ
此風屏一雙此の十疋大なる杉折に五百右門主えはよく香ろう
香三百把新門主えは被下は使番は口上使にて系る

廿二日

一 此の十疋は手垢多り一對は杉折二重はく且しは茶入元上覺院に使番
は口上使に被下は

一 今日此は本の茶は口切昨年のは通り桂宮に系内成

一 親王准后に一所に膳出る

一 親王准后に於て一折つゝ上々の桂宮より此一折は花生の
うは板上々の系内は附七種のは参取上々の毎年はうは板二枚上
々の事此系内は花生上々の事の由之夕方五段出る賑
こ之夜半おへ濟さぬ親王は是非論子えぬ准后はえも同斷桂
宮に於てちりめん手つららたへは文この内は嶋ちりめん一反は
組物かさりのりんさし二本袖入二えんをのう上臈下りは孝順
院に於ては對面成申口にては認九もしはくおし出るおくてもは
戴はは暇の時分白さるや一卷被下は

一 今日のは供藤崎始え口祝有女中えはまやよすもしぬいめん下さるよ
取の過はするよとは退出之高司前關白に鶴上々の關白に傳
きんにて會津に柵一と此看一折きん上

一 親王はえも柵はよか一折きん上

一 尹宮に於て看三種上々の

一梅溪宰相中將を拜賀に附二種一荷進上は三之間を承て對面成熊の間
にて天盃給ふ

廿三日

一右府を鶴をまん上かん使安見右衛門尉を承一折献上

廿四日

一關白を小鳥上クク瑞龍寺を花上クク

廿五日

一關東を初鶴進きん一橋を月次うあまきん上能とぬを淨機嫌伺はる取上
のくは七高階を菊のくくとしは夢取きん上明日の代香を表え仰出さ
れは

廿六日

一泉山えは代香を表を花の香まいる靈りんしの宮を花の菓子上
クク庭の小町茶る

一今城宰相中將を拜賀に二種一荷進上は三之間を承て對面熊の間を承
天をい給ふ

廿八日

一朝は盃を知光院を玉蓮院を類焼に附はふりひに金五十兩つゝ下さ
れは信敬院をえも同斷被下は應修院をえ二十兩被下は口の人えも被下
は

廿九日

一今晚を新常會を神事入夕方手あし服しや出さるゝ大輔内侍を多く承
て下下りの伊与手あしを承下るゝ膳後を火りへは湯を一とう
湯有

十一月朔日

押小路甫子日記第二

一寅刻ころいんむの滂もんくし言上臨^{期方}後出滂沙^無小式部内侍^滂廻り
 宋女^宋兩人廻るゝ神供^宋を埒のすき^滂初尾百疋^朝盃^朝朝り
 せる中將典侍^滂新内侍^滂加賀^親王^滂准后^滂より^滂肴一折つゝ上
 々の^滂准后^滂月水^滂辰半刻^滂比^滂下り^滂例年の通り^滂むへ^滂献上^滂有^滂附
 兩人^滂茶口切^滂あるも^滂し一折つゝ^滂茶一^滂こつゝ^滂きん上^滂夕方^滂物
 出^滂成^滂大^滂す^滂け^滂新内侍^滂越^滂後^滂五衣^滂之^滂盃^滂三^滂こん^滂者^滂三^滂こん^滂め^滂新
 内侍^滂酌^滂之^滂女中^滂男^滂方^滂通^滂り^滂有

二日

一延引の内侍所^滂法樂^滂湯^滂ハ^滂沙^滂之^滂無^滂關^滂白^滂滂^滂う^滂取^滂上^滂ク^滂ミ^滂つ^滂し
 所^滂大^滂す^滂み^滂の^滂守^滂カ^滂あ^滂く^滂さ^滂み^滂ニ^滂西^滂瓜^滂二^滂を^滂ん^滂上^滂關^滂白^滂滂^滂え^滂系^滂る^滂關^滂白^滂滂^滂小^滂鳥
 女中^滂え^滂被^滂下^滂ル
 一非藏人泉亭^滂豊^滂後^滂此^滂度^滂番^滂代^滂仰^滂附^滂の^滂礼^滂ニ^滂す^滂る^滂と^滂一^滂折^滂き^滂ん^滂上^滂仙^滂臺^滂よ
 り^滂馬^滂三^滂疋^滂き^滂ん^滂上^滂ニ^滂て^滂小^滂御^滂所^滂引^滂入^滂の^滂覽^滂ニ^滂成^滂ク^滂の^滂

三日

一と取し

四日

一近衛^滂カ^滂い^滂ミ^滂酒^滂を^滂ん^滂上
 一准后^滂下^滂り^滂中^滂大^滂す^滂き^滂な^滂し^滂め^滂カ^滂滂^滂機^滂嫌^滂伺^滂ふ^滂う^滂と^滂ん^滂上^滂る

五日

一准后^滂え^滂下^滂り^滂中^滂見^滂舞^滂み^滂は^滂く^滂包^滂し^滂肴^滂三^滂種^滂え^滂ん^滂を^滂の^滂
 一敏宮^滂カ^滂當^滂日^滂の^滂く^滂し^滂上^滂ク^滂の^滂
 一仙臺^滂え^滂織^滂物^滂陣^滂を^滂本^滂り^滂地^滂三^滂卷^滂近^滂衛^滂滂^滂え^滂奉^滂書^滂ニ^滂出^滂る^滂を^滂橋^滂中^滂納^滂言^滂み^滂拜^滂賀
 二種^滂一^滂荷^滂進^滂上^滂三^滂間^滂ニ^滂て^滂對^滂面^滂ある^滂熊^滂の^滂間^滂ニ^滂て^滂天^滂を^滂い^滂給^滂ふ^滂と
 ぬ^滂上^滂る^滂ハ^滂花^滂進^滂上^滂昨^滂日^滂代^滂香^滂表^滂え^滂仰^滂附^滂の^滂

六日

代香^滂表^滂カ^滂香^滂花^滂系^滂る

七日

一 紀嘉より乙つりん冬忍酒きん上

八日

一 准后泡巳刻ころに上りてお使にさかばよを看上クのく女中えは硯笏
 二 看被下は敏宮泡を涉機嫌伺クのくは看上クのく
 一 知行の泡もつ本大すき泡師典侍泡中將典侍泡越後泡ちらん一ちつ
 二 泡てうし一枝つゝ上る

九日

一 親王泡を神事中涉機嫌うらゝひクのくはうとん上クのく

十日

一 春日祭に夕方泡丸火入に附内侍所えは鈴系るは初穂銀一枚看はくし
 の湯は行水看内侍所えはるとひ出来申入口え系の

十一日

一 春日祭に^{日脱カ}附はくし取有親王泡准后泡をくし上クのく女中方もは
 くし上る知行ははもつををたのすき泡新内侍泡伊与ゑ伊賀ゑより上
 ぶるゝ

十二日

一 賀茂下上涉法樂は湯看
 一 内侍所え新常會^{警カ}は當夜はするゝとのゑうふ内侍所え三ヶ日は鈴系る
 二 初穂銀三枚看北野臨時祭はすはゝとの様内侍所えは百度仰附の
 二 初穂銀三枚系る内侍所えはくはするゝ一折系る
 一 准后泡を神事涉機嫌伺クのくはよをさり取上クのく

十三日

一 明日北野社臨時祭に附朝よりは膳は精進涉禊すまをのて涉精進解ま
 事尤わく計多涉精進夕らゝは丸火入はくしの湯は行水系る内侍所え
 二 鈴系るは初穂銀一枚看

十四日

一寅半刻に於る卯半刻ころ奏聞有辰刻過湯出御成りのしりきい濟を
のし辰半刻ころ入御成り精進解りのし夕は膳出るまんとつ内
覽をのし當日に内侍所えに鈴系る初穂銀一枚系るし肴一折系る
内侍所より肴一折系る親王准后のし再興に附るし取一折つ上
くのし准后のし肴上くのし

一御所を親王准后准后桂宮のし肴一折つ系る桂宮よりハ月水ニ
て上くのし親王のし

一准后のし祝に系る朝より一同参るへ之よかり一刻前にするくと濟
さのし事言上^{火脱カ}九^{火脱カ}解のし

十五日

一關白の九条のし肴一折つと傳奏を橋を奉行清りんしな肴一折
つ奉書に被下し

一會津を月次は取一折きん上

一當夜系役尾張初越後申渡すのし役はく新大夫ぬい司に申渡し之

十六日

一白川を寅の守申出シに初穂銀三枚鈴に越後渡シ申し諸司
代を月次は肴一折献上有當夜系役仰出されきんの内侍新内侍のし
の内侍を肴のすきなくはの命婦伊与ぬいさんの采女越後まんと
りに繋ぬえ仰附のし夕方九火入内侍所えに鈴肴のし穂銀一枚を
くしの湯は行水系るを肴のすき初神事入之

十七日

一内見有女中も内きん有小式部内侍のし月水にて下り

十八日

一當日に内侍所えに鈴系る初尾銀一枚を肴系る親王のし肴上を肴
はくしの品色と上くのしこさかもはくしの品は雜煮まんと

桂宮^のえも^の雜^煮ニ^はく^しの^品ハ^は丸^火前^ニク^の西^の半^刻比^は湯
出^御刻^きん^出る^加賀^ぬ所^勞ニ^て夕^りカ^は乳^人ハ^頼ニ^成系^のよ^か
る^半ころ^ハ中^入毎^もの^通り^ハ膳^ハ一^こん^出る^ハ湯^蒸る^ハ内^ニ出^御成^丑
半^刻す^ハす^注と^入御^成ク^の丸^火と^きの^寅半^刻す^きき^{さい}
の^ハ手^水出^御成^大す^きの^新内^侍の^ハ与^ぬハ^契ぬ^ニ入^御成^ハ神^事解^の
ハ^表え^ハ菓^子出^る内^ニハ^くし^成ク^の

十九日

神^事解^のハ^肴一^折つ^親王^の准^后の^ハ上^クの^小式^部内^侍の^ハ上^り
ニ^ハ花^進上^夕方^節會^をん^後出^御ハ^沙の^ハめ^しの^内侍^の
廻^り夜^半過^スる^ハと^濟を^のハ^表え^ハ菓^子出^る

廿日

北^野臨^時祭^ハ當^日の^ハ祝^桂宮^の方^仰入^のハ^肴一^折上^クの^外ニ^ハ肴
一^折三^種上^クの

一 聖門^の仁^門の^ハ神^事と^きニ^附こ^んぬ^一こ^つ上^クの
一 今朝^丹波^ぬ上^の

廿一日

一 桂宮^のハ^肴入^ニる^ハ肴^一折^上ク^の御^所方^白銀^五枚
内^ニハ^肴よく^香ろ^うハ^肴一^折ハ^二度^め今^日ハ^一所^ニて^夏の^六枚^折ハ
屏^風一^双系^る
一 大^すき^の始^ハ頭^えこ^ハく^湯一^多つ^系る^師典^侍の^ハ始^荷桶^ニる^廻
り^ハ大^すき^の初^藤大^納言^の新^宰相^の兒^りカ^ハ衝^立上^る當^月朔^仁
門^のハ^誕生^日の^所ハ^神事^ニて^今日^小戴^一多^ニこ^んぬ^一折^ハて^うし^一枝
上^クの

一 賀^茂下^上臨^時祭^ハ延^引仰^出され^ハ廿^九日^ト仰^出され^ハ尾^張え^申渡^ス口
向^え右^京大^夫ニ^て申^出ス

一 親^王の^ハ茶^ハ切^廿四^日ト^仰出^{され}ハ^おき^決の^かう^し廿^三日^ト仰^出

されは關東の便り有

廿二日

一 來ル廿七日まんきんの茶口切仰出されは火に廿四日ト仰出されは長橋の事思召にて多い役は隠居仰出されは名を當宰相ト下されは

廿三日

一 長橋の居る居の事三頭え申頭ス刀自えも申は事口向え右京大夫にて申出スおさめのかうしんは備へ上る涉膳にゆ出る女中も戴はくし女中一同藤大納言の新宰相の先丸三頭大瀧えもいふりされは表えもよくし被下は

廿四日

一 親王の茶口切に茶一と一折は膳は一通りよくしは口とりは茶も上りの

一 御所は看一折まんの諸司代が初雪に茶一折きん上桂宮のえ
賀茂系る

一 入道准后のえも同断まんの外はよくし附の上は茶も皆
一夕方の火に例えは通り

廿五日

一 表の庭は文こ出来今日上棟に内侍所は鈴系初を銀一枚は
看一折系る親王の准后の桂宮の看一折つ上りのこ取もは
看一折宛りの涉膳に祝白らむし先附は吸物はすは重看出るは
表關白の系をハ祝出る

一 両役り勢修理し奉行は吸物は重看出る女中一とふえも戴はきりへハ
らいと計たへは

一 新すき小式部内侍の加賀するとの知行はそつ茂上る師典
侍のよしの代系は札進上靈らんしの宮の誕生日に付小戴一多

上クク

一今日武家系内ニ有る小御所ハ出御成天モい給ふ銀二十枚ツ、きん上明日
ハ代香ハ神事ニテ六日十三日の分仰出されハ

廿六日

一泉山エハ代香ハ表方ハ香ハモ有る

廿七日

一玄んきんハ茶ハ口切ニ附

親王准后方ハ肴一折ツ、上ククハ茶リニ有る膳ハ一所ニ出る桂
宮ハハ不系ニ有る膳ハ一通リハく且シハ茶クク

一丹波ハ加賀ハするハとのうき入ニ附コハくハ一肴ハつ、ハ肴一折ツ、
きん上大すき初ハコハくハ一桶申口エ出る今日藤大納言ハ茶リニ
有る盃ハ包進上一橋ハ初雪ニ有る賀モ青籠ニ有るきん上會津ハも同斷献上
ニ關白ハハ賀茂クク

一高司前關白ハハうき入ニ有る表向ハ有る十ゆハ内ニ二枚折ハ屏風一
玄んきんハ女中ハ花ハハ花臺上る

一今日ハハ徳日ニ有るき入の人ハハ祝儀下され無ハ表エも同斷被下、
無賀茂臨時祭ハ神事入ニ有る夕ハ手ハし服シヤ出されハ丹波ハ多クニ
テ下されハハ火リエニ

廿八日

一朝ハ盃系ハ大樹ハハ月次ハモコ物ニ有るきん上夕ハハ湯丸火ニ有る内侍所
エハ鈴者ハモツ茨銀一枚系ハハくシハ湯ハ行水系ハ

廿九日

一湯當^{日脱カ}ハハ七ツ半過ニ内侍所エハす、系ハハ初穂銀一枚ハハ折一折ハ
ハハ

一辰刻過出御成湯ハハ濟セハ上ハハハ物出ハ庭座濟セハハ四ツ半過
ハ夕ハ膳出ハ玄んきんハハ覽ニ成ハハ

一春日社に法樂有今とんより三ヶ日修法うつし小附ふをの撫物出され親王准后准敏宮のも撫物出る大すきの知おん會の香衣銀上る

六日

一申中日に道師は三合三荷に使を下されは今日泉山に代香師帥カ侍に系り之

七日

一師帥カ典侍に上り之新内侍に今日にかろめに附こかく滂一寄一折一折一てうし一枝にきん上女中衆えこかくもふい申は女中よりに看一折上る中宮寺に所勞に尋に杉折にくかし系る永平寺香衣銀上る

八日

一申刻寒の入に附親王によりに看一折上カのく准后に同斷上カのく關白に高司前關白に大納言に政所に近衛に父子によりに看一折つ一一条

泡かか一折會津かかん一折所司代よりあん一折きん上妙榮徳院にか
に看一折小堀よりあもに附よりミつりん一りこつ一まん上之夕りに
別殿に乙てに附出御成に三献系るに三献め大輔内侍に酌之女中男り
に通り有入御成に雜煮に吸物に盃旨准后に系りにあり一所に出る
大すきに初に雜煮に吸物に戴は今日に心院にえに對面出御成天にい給
ふ

九日

一いのるす一拂にあり口切のに認に茶にくし大すきに初戴は新宰相
泡高松に兒にちの人にえに茶にくしに認被下に准后にの上に藤三人に
ちに年寄に認に茶に菓子被下に今とん子祭に付四辻に先しはに小座敷
にあり大こく泡に祭に親王准后に桂宮に泡大黒に系り祭にありに樂
はてうもん有こあの大黒にえに備へ上る女中衆のに小座敷にあり樂
てうもん有に夜去よく女中衆にありえに祭すミカのくはさんみ録乃

つり出る織君泡々寒中ニ由まか一折上る尹宮泡々さちの宮泡々かん一折つゝ上る

十日

一藤大納言泡々着肴一折寒中涉機嫌伺泡々きん上是ハ上り合を由れさゝまニて親王泡々え由上ケニ由返し由戴ニ成由へて准后泡々え由上ケ由多みハ由多く所由頼ニ由

一御所方親王泡々准后泡々え寒中由肴肴一折つゝ系る由使表使ニ由靈りんしの宮泡々百々涉所よりミつりん上る

十一日

一内侍所由大變方由入用多ニ附きんくさ由方終りひニ附今日金百両さいめし由渡シ相成由

一准后泡々え香衣の由す不日きえんさゆ越後由使ニ系る一橋方寒中賀茂

一折きん上今日方

一寒中の由返し所々え肴肴一折つゝ出る由賀茂たよし由代系ニて由札上ゆ

十二日

一明十三日方三ヶ夜涉神樂由參役大すき泡々中將典侍泡々大輔内侍泡々え仰出され由尾張えも參役申渡ヌ桂宮泡々方由くしの由品上ケのく中宮寺泡々由内々寒中涉機嫌伺ケのくう上ケのく由く和し大すき泡々え由頼ニて上ケのく關白泡々方うあま鶴由きん上園中將泡々拜賀ニ由ささい一もこ進上由三間ニ由對面成天こい給ふ明日泉山え由代香由表え仰出され由

十三日

一今日の由代香由表方由香由花者夕方三ヶ夜由神樂由神事入ニ由手あし多くしや出さるゝ丹波泡々多くニ由下るゝ

十四日

一ゑる野中將泡々も賀ニ由ささい一もこえん上涉三間ニて由いめん由

沙の無天盃出桂宮泡えゆくしの品いろくく夕りさは丸火を
 内侍所えは鈴系准后泡誕生に付小戴一帯さしてうし上クのく右に附
 こあさ方着看一折上クのく關白泡は暮の祝儀半金一枚絹二疋着
 一折國事泡用を半金二枚絹一疋着看一折系る入道准后泡え暮の
 祝儀銀三枚絹一疋着看一折系る近衛前關白泡え暮の祝儀半金一枚
 絹二疋着看一折系る内府泡え國事泡用を附半金一枚着看一折系る別
 に毎くはさ酒泡きん上を附絹五疋は挨拶を系るあまの人の金千
 疋大乳人のみをと系る右府泡え半金一枚着看一折系る尹宮泡えは
 んま一反半金一枚着看一折系る
 一常陸宮泡え銀十枚着看一折系る
 一九条大納言泡え銀十枚着看一折系る

十五日

一涉神樂は當日を内侍所えは鈴系はつを銀一枚架後一折は樽着西半

刻ころ出御刻きん出る涉所作はささの亥刻過入御成クのく内へ出
 御成は表えゆくし着出る親王泡はゆくしはよささり取上クのくこ取
 さ方ゆくしは雜養系る桂宮泡えは雜養尾張を廻しは是ハは月水をと
 ささのゆへに准后泡はゆくしはろく上クのく八ッ比はするくと
 濟さのくは參役のりさく歸りは系りは神上るは口祝有藤江尾張は祝
 申入口祝有は表えゆくし出る

十六日

一内侍所えはすゝ系るはつを銀一枚着看一折系る親王泡ははよささ着上
 クのく准后泡よりも同断上クのく親王泡桂宮泡はうたく進セのく女
 中一同方は先例を通りするく一折きん上への兒りさもは一所之酉半
 刻ころ出御刻きん出る今日も御所作はささのく入御成は表えゆくし
 は着ゆくし出る八ッ半前はするくと濟さのくは參役りへり系は神
 上る尾張藤江は祝申入口祝有大樹泡は月次献上茶のは道くはろく

上る

十七日

一内侍所えはすゝ系るはこつを銀一枚架後一折系る酉の刻ころ出御成刻
きん出る

十八日

一涉神事ときゆゑ親王准后は看一折つゝ上クの暮のは祝儀被下
は女中一同
一は表はやの小路ははまぬ一疋にあらふ銀五枚被下は四辻なえ同断被
下は藤大納言な新宰相は丸丸はちの人えもは祝儀は祝儀被下は三
仲間はし一同は祝儀被下はちりぬ料銀加賀な五百目つゝ二ツ被下は
一綾小路なをる歌はつとめをあらまぬ一疋は取あふへは小座敷をる涉對
面を給りは

十九日

一官位のは沙さる表えはくじし出る親王ははすゝこふはを親王はは三
間え成ふせゆゑこあさるはよを看進をゆゑ本りふは重の内も系る高松
はは初は認外にあらゝすもしははゝちを申は准后ははよをさる取
進をゆゑ

一清水谷なはよをさる取はふもしすきはのるとひに召出されは千種な
ふもし内侍は奉公人に召出されは事仰出されは暮ははすゝ濟クの
親王はくもし成一橋はは看色ゝきん上有

廿日

廿一日

一今日も表はとり置之

廿二日

一桂宮はははうしに附はる取は遠山隠岐守内ゝきん上物はりき物一ちく
きん上親王はは二枚折は屏風一双きん上夕方うんふ殿上人毎もの

は通り出る

廿三日

一 常御殿はすゝこふい卯刻過渉樂をん所え成ふせの引後辰刻ころ親王准后准敏宮よりは肴上クの夕膳にすゝ重肴をるは盃出るは通り有小御所をるは盃系るは通り有男りもは通り有は表えは重之内出る外は兩役近習えはく和し出る初夜過はするくと濟せの御成は盃は三献は通り有今日松平侍従は礼は二種一荷後のは礼は半金一枚きん上

廿四日

一 例年の通り東堂よりは樽肴きん上伊賀中將は絹料半金一枚は肴一折きん上十津川よりはゆはりす附は歳暮みきん上關白は傳きんにて一橋はいろくきん上千種なふもしはめまへは系り

廿五日

一 涉くし上は茶の分は例のは通り新内侍は事此はひ長橋は仰附のは内意仰出されは三頭えも申渡は表えするりとのにて仰出されは口向え右京大夫を申今日は局移りへは涉神^{事脱カ}参役仰出されは尾張え申渡は星は舟例の通り親王准后准敏宮よりええんを夕方は神事入を手おし多くしや出されは丹波は下のは参役は神事入あり

廿六日

一 夕りは涉丸火入を内侍所えは鈴系るは初穂銀一枚系るはくしのは湯は行水系るは丸火よりは精進解の

廿七日

一 涉神樂は當日内侍所えは鈴系るは初穂銀一枚は樽肴系るせはろう女中衆の上る親王准后はくしは肴上クの少は涉風氣はにて出御は沙は無

廿八日

押小路甫子日記第二

一 涉神事解の親王准后の歳暮の使二種一荷上クのこゝろ
 も使新内侍の使を系り例之通り系る
 一 うら松の日に至七月迄と表え仰出されぬ會津諸代^{司脱カ}の歳暮の祝儀
 多し一箱つゝきん上大名参内小御所に出御成り對面銀二十枚つゝきん
 上六角侍從参内太刀馬代銀五枚きん上大多くは茶親王准后の
 敏宮^之者

役員

副總裁	侯爵	蜂須賀	茂韶
會長	赤司	鷹一	郎
幹事長	中原	邦平	
幹事	岩崎	英重	
幹事	早川	純三	郎
顧問			
侯爵	松方正義	伯爵	土方久元
公爵	九條道實	侯爵	蜂須賀茂韶
侯爵	徳川義親	子爵	金子堅太郎
評議員			
子爵	三島彌太郎	子爵	小笠原長生
		男爵	尾崎三良
		公爵	鷹司熙通
		侯爵	木戸孝正

男爵 澁澤榮一	文學博士 萩野由之	原六郎
原保太郎	德富猪一郎	早川千吉郎
豐川良平	加藤正義	男爵 大倉喜八郎
大谷嘉兵衛	小牧昌業	中原邦平
小松原英太郎	文學博士 三上參次	赤司鷹一郎
朝吹英二		

會員名簿

(次第不順)

大正六年七月一日現在

宮內省	東宮御所	閑院宮家
東伏見宮家	李王職	
侯爵 松方正義	侯爵 蜂須賀茂韶	伯爵 土方久元
侯爵 黒田長成	子爵 金子堅太郎	男爵 尾崎三良
公爵 嶋津忠重	公爵 嶋津家	公爵 毛利元昭
子爵 吉川元光	侯爵 山内豐景	侯爵 前田利為
侯爵 細川護立	侯爵 池田仲博	侯爵 池田禎政
有馬頼寧	公爵 九條道實	公爵 伊藤博邦
侯爵 木戸孝正	男爵 三井八郎右衛門	男爵 岩崎久彌
小松原英太郎	原六郎	男爵 澁澤榮一
豐川良平	早川千吉郎	高田慎藏
川崎八右衛門	南都斐男	久原房之助
公爵 徳川家達	子爵 大久保忠一	原保太郎

侯爵	伊達宗陳	文學博士	小牧昌業	大久保利武
文學博士	萩野由之	文學博士	三上參次	赤司鷹一郎
中	原邦平	國學院大學	加藤正義	伊東祐毅
東京帝國大學圖書館	村井吉兵衛	德富猪一郎	桐島像一	富田幸次郎
村井貞之助	東京帝國大學圖書館	神宮奉齋會	岩崎小彌太	藤田平太郎
公爵	應司熙通	西村秀造	男爵	帝國圖書館
伯爵	井伊直忠	川上直之助	男爵	田邊密藏
內池三十郎	法學博士	上杉慎吉	男爵	嶋津久家
第一高等學校	中山正善	東北帝國大學圖書館	男爵	第二高等學校
東京高等商業學校	木村清四郎	東北帝國大學圖書館	伯爵	成田圖書館
侯爵	井上家	松浦厚	伯爵	寺內正毅
渡邊千秋	伯爵	近藤廉平	伯爵	德川達道
宮崎圖書館	男爵	京都帝國大學文科大學	伯爵	廣島高等師範學校
男爵	住友吉左衛門			

山內一次	男爵	牧野伸顯	公爵	三條實憲
前川一郎	小柳津要人	林民雄		
華族會館	神田鐳藏	法學博士	水町製裝六	
工學博士	須田利信	公爵	一條實輝	
男爵	大倉喜八郎	南葵文庫	齋藤勇見彦	
大橋圖書館	侯爵	佐藤範雄	朝吹英二	
子爵	三島彌太郎	西郷從德	池田謙三	
周布公平	辰澤延次郎	第六高等學校	菊池晋二	
野崎廣太	赤星鐵馬	伯爵	酒井忠道	
東北帝國大學農科大學	陸軍省	赤星鐵馬	樞密院	
田中留吉	大谷嘉兵衛	井上準之助	米澤元健	
平沼久三郎	井上準之助	小野光景	茂木惣兵衛	
原富太郎	金子元三郎	東京商業會議所	增田增藏	
桃井可雄				

侯爵

大阪天滿宮社務所

徳川義親

田村市郎

高知縣立圖書館

教育總監部

山口圖書館

安田善雄

奈良女子高等師範學校

神宮文庫

井原豐作

京都府立圖書館

高頭仁兵衛

渡邊勝三郎

箕田長三郎

神戸市立圖書館

武岡豊太

福原八郎

森田金藏

早川純三郎

岡上爲右衛門

中島久萬吉

三浦新七

第三高等學校

三井家編纂室

博文館編輯部

小川多一郎

維新史料編纂會

岡松參太郎

吉野周太郎

花房義質

大阪府立圖書館

安田善三郎

小笠原長生

岩崎英重

杉山四五郎

宮本仲

藤山雷太

淡中孝八郎

神道本局

京都帝國大學圖書館

堀田正恒

神戸高等商業學校

早稻田大學圖書館

大森鍾一

穗積陳重

子爵

男爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

子爵

久世廣英

都筑馨六

山口恒太郎

南義二郎

小倉久兵衛

渡邊國武

堀啓次郎

金光鑑太郎

加藤泰秋

日高榮三郎

西脇濟三郎

本間光彌

上山滿之進

第四高等學校

中川小十郎

新庄金生

清海復三郎

河野巖男

小野金六

成瀬正恭

渡邊治右衛門

芝川又右衛門

北海道拓殖銀行

北平定晴

植木平之允

竹村與右衛門

貝島太助

南波禮吉

文部省圖書課

上野勝啓

西山亮三

土井榮

森本信富

今村繁三

市川文藏

渡邊千代三郎

佐々木勇之助

横山章

辻忠郎兵衛

川崎芳太郎

古谷久綱

上野理一

古河虎之助

法學博士石渡敏一

男爵島村速雄

328
379

終

